

「令和2年度に実施した仕事」の振り返りシート（A：裁量有）

記入日 令和 3 年 4 月 14 日

事業名称		スポーツ推進委員活動費 [スポーツ推進委員活動事業]									
予算科目	款	10	教育費	項	5	保健体育費	目	1	保健体育総務費	事業番号	2
事業の種別	<input checked="" type="checkbox"/> 市単独 <input type="checkbox"/> 補助対象 <input type="checkbox"/> 市が実施することが法律等で義務付けられているもの(市の上乗せあり)										
担当部署・課長名	社会教育 課					生涯学習 係			課長名	高田 匡章	
この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。								施策番号	1 - 5		
【施策名】 スポーツ・レクリエーションの推進								総合計画書(ページ)	43		
この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。					① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標)					
	市民					人口数(令和2年4月1日現在)					
	→										
この仕事の目的	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に]					② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標)					
	①スポーツに興味を持ってもらう ②市のスポーツ行政に興味を持ってもらう					スポーツ・レクリエーションの推進施策に対する市民の満足度					
	→										
この仕事の目的	③ そのために何をしましたか。					③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標)					
	①スポーツ推進委員の定例会を開催し、スポーツイベントやその取組方法について話し合った。 ②スポーツ推進委員主催イベントを企画し、市民が参加できる取組みを行った。 ③市主催のスポーツイベントへ応援・運営協力を行った。					①定例会：9回 ②体力測定、ポッチャ大会等を企画したが、新型コロナウイルス感染症の観点から中止した。 ③ふれあい市民運動会、ロードレース大会、多摩湖駅伝大会に関わる委員を決定し、協力体制を整えた(各大会については、令和2年度は全て中止)。					
	→										
指標の推移			単位	過去2年間の実績		当該年度	成果目標				
				平成30年度実績	平成31年度実績	令和2年度実績	令和3年度目標	令和4年度目標			
	対象指標	①の数値	人	85,698	85,337	85,266					
	成果指標	②の数値	%	17.5	20.6	16.0					
	目 標	②の目標値	%	21.6	21.6	21.6	21.6				
目標値設定の考え方 市民意識調査において、平成33年(令和3年)の「スポーツ・レクリエーション活動の推進に対する市民の満足度」の目標値を21.6%としている。(第四次基本計画)											
3 経費	活動指標	③の数値	①~③合計数(回)	23	22	9					
	事業費(実績)	円		3,655,222	3,030,193	1,744,333	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外) 年間単価は、8,380,000円 時間単価は、4,300円 で計算してください。 【算出根拠】平成31年度決算数値。 (退職手当組合負担金、共済費も含む。)				
	財源	円		3,655,222	3,030,193	1,744,333					
	一般財源	円									
	特定財源(国・都・他)	円									
(うち受益者負担)	円										
人件費(目安)	人			0.3	0.3	0.3					
所要人数(再任用以外)	人										
所要人数(再任用)	人										
職員人件費(再任用以外)	円			2,473,200.0	2,493,000.0	2,514,000.0					
職員人件費(再任用)	円										
事業費+人件費	円			6,128,422	5,523,193	4,258,333					
4 環境変化等	(1) 開始年度	S37 年度									
	(2) 環境の変化	スポーツ振興法第19条に基づき、東大和市体育指導員に関する規則が、昭和37年4月1日に施行された後、平成23年4月1日にスポーツ基本法(スポーツ振興法の全面改正)が施行された。このスポーツ基本法第32条に基づき、平成23年9月1日に東大和市スポーツ推進委員に関する規則が施行された。スポーツ推進委員は、市内におけるスポーツ推進のための事業の実施に係る連絡調整、市民に対するスポーツの実技指導及びその他スポーツに関する指導・助言を行う等の活動を行っている。 近年では、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会が目前となっていること、またポッチャ等、障害者スポーツへの関心の高まり等に合わせ、スポーツ推進委員の役割がますます重要となっている。									

事業名称	スポーツ推進委員活動費 [スポーツ推進委員活動事業]			
担当部署・課長名	社会教育	課	生涯学習	係 課長名 高田 匡章

5 市民等の意見	この仕事に関して、令和2年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について 新型コロナウイルス感染症の影響により、多くのスポーツイベントが中止となった。こうした中で、「ポッチャ体験会」は感染症対策を徹底することで実施することができた。パラリンピック競技大会の正式種目の一つでもあるポッチャを体験した参加者からは「楽しかった」「また行いたい」などの好評を得た。
6 市民協働	(1)この仕事の実施にあたり、市民協働に取り組みましたか。取り組んだ場合、取組手法欄の種類から番号を選択し、取組手法欄に番号を記載してください。(複数回答可)
	<input type="checkbox"/> 取り組んだ <input checked="" type="checkbox"/> 取り組まない 取組手法： 【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換(広報媒体：) ⑦後援・場の提供 ⑧その他()
7 課題	(2)令和3年度に向け、さらに適した協働の形態とするために「考え」「気付いた」点 現在委嘱しているスポーツ推進委員は、いずれも経験豊富で、スポーツに関する深い関心と理解を持っている。引き続きこうした人材をスポーツ推進委員として委嘱したい。
	(1)令和2年度に課題とした内容(「平成31年度に実施した仕事」の振り返りシート7課題(3)を転記) 事業実施にあたっては、スポーツ推進委員同士の連絡が必要不可欠であるため、引き続き連絡体制の構築を図る。
	(2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、令和2年度に実施したこと。 スポーツ推進委員同士の情報伝達は、携帯電話アプリを積極的に活用し、コロナ禍でも連絡交換しやすい体制の形成を図った。また、定例会以外においても、事務局から研修会や市の事業状況等について適宜情報提供を行った。
8 施策貢献状況 (この仕事は、総合計画(基本計画)に掲げる課題の解決手段になっているか。)	(3)(2)を踏まえた今後の課題(仕事の最適化・合理化の提案) 引き続き、連絡体制の構築強化を図り、スポーツ推進委員同士や事務局との情報共有を行う。
	施策名： スポーツ・レクリエーションの推進 <input checked="" type="checkbox"/> なっている <input type="checkbox"/> 環境の変化等により成果が減少している <input type="checkbox"/> 類似の事業が他にあり改善の余地がある 事業名()
9 今後の方向性	(1)仕事の方向性(「7 課題(3)」の課題及び「8 施策貢献状況」を踏まえた具体的な改革・改善案など) <input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 【取組内容】 令和2年度におけるスポーツ事業は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、ほとんどが中止となったことから、事業内容の整理を行い、コロナ禍でも実施できるスポーツ事業を検討する。
	(2)上記(1)の取組にあたり、克服すべき問題点、必要な調整・準備等 新型コロナウイルス感染症の感染防止対策を講じ、安全なイベント環境を整えること。